2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	トレンドマイクロ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4704	URL	http://www.trendmicro.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	エバ・チェン
問合せ先責任者	（役職名） 代表取締役副社長	（氏名）	マヘンドラ・ネギ　(TEL) 03-4330-7600
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家・アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	223,913	10.4	35,023	△21.2	37,522	△5.0	23,839	△11.5
2025年12月期第３四半期	202,753	0.0	44,474	13.3	39,516	3.1	26,942	2.0

(注)包括利益　2026年12月期第３四半期　22,173百万円(△14.5%)　2025年12月期第３四半期　25,932百万円(　0.1%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	183.27	183.27
2025年12月期第３四半期	204.86	203.46

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	397,986	127,338	30.8
2025年12月期	422,238	131,126	30.2

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　122,776百万円　　2025年12月期　127,519百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	185.00	185.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注) 2026年12月期の期末配当については未定です。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,500	9.2	44,400	△23.2	46,000	△14.8	30,700	△11.1	234.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	140,901,604株	2025年12月期	140,901,604株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	10,968,497株	2025年12月期	10,221,368株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	130,078,576株	2025年12月期３Ｑ	131,520,261株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
３．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（追加情報） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（単位：百万円）

	売上高		
	2026年12月期 第３四半期 (累計)	2025年12月期 第３四半期 (累計)	増減率
日本	66,016	65,711	0.5%
アメリカズ地域	43,715	40,556	7.8%
欧州地域	50,913	44,440	14.6%
アジア・パシフィック地域	63,267	52,044	21.6%
合計	223,913	202,753	10.4%

当第３四半期連結累計期間(2026年１月１日～2026年９月30日)における世界経済は、中東情勢をはじめとする地政学リスクの継続に加え、米国の通商政策等の不透明感や金融資本市場の変動等により不確実性が高い状況で推移いたしました。紛争の長期化・拡大や地政学的分断の深まり、貿易摩擦の再燃など下振れリスクが引き続き支配的な状況にあり、今後の世界経済の見通しは予断を許さない状況にあります。

情報産業につきましては、引き続きＡＩが浸透し、2026年の世界におけるＡＩ支出は前年比49.5%増の2.7兆ドルになると予測されています。こうした状況からＡＩインフラやソフトウェアがＩＴ投資を牽引し、2026年の世界におけるＩＴ支出額は前年比14.2%増の6.37兆ドルに達すると見込まれています。

セキュリティ業界におきましては、ＡＩの進化、地政学的リスクやグローバリズムの分断、サプライチェーンの複雑化などにより攻撃の速度や規模が更に増しています。国家機関等を狙ったサイバー攻撃、企業の機密情報の漏洩の被害、暗号資産の流出等をはじめとする特定の企業や組織及びそのエコシステムを狙う標的型攻撃や、ランサムウェア等のサイバー攻撃が目立った他、ＡＩの普及に伴うセキュリティリスクも顕在化し、企業や個人において高いセキュリティ意識が一層問われる状況となっています。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものでありました。

当社は2026年より、従来の法人向けビジネスを「TrendAI」、そして従来の個人向けビジネスは「TrendLife」という各々独立したビジネスブランドとして展開を開始いたしました。そして、第３四半期においてはセキュリティプラットフォームTrendAI Vision One™(以下、Vision One)のターゲット層への浸透、推進をより強化・加速すべく「TrendLife」に中小企業向けビジネス製品も移管いたしました。これにより「TrendAI」は大企業向けビジネスが中心のブランドに、そして「TrendLife」は個人向け・中小企業向けビジネスが中心のブランドに変化しております。

大企業向けビジネスが中心のブランドであるTrendAIにつきましては、全地域においてVision Oneを背景に、ＡＩ活用次世代ＳＯＣ関連セキュリティが大きく伸長いたしました。今期より販売を停止した単体SaaS製品からVision Oneへの移行が継続している中、TrendAI全体におけるVision OneのARR(Annual Recurring Revenue)は大きく成長をしております。未だVision OneのARR成長と単体SaaS製品のARR減少が混在し全体としてのARR成長はVision OneのARR成長より低い状況ですが、Vision OneのARRの構成比率は上昇してきております。加えて、販売方式を製品ごとの個別販売からVision Oneのプラットフォーム各種機能をフレキシブルに利用できるクレジット方式に完全移行することにより、Vision OneのARRの更なる成長の加速を見込んでおります。そのような中、TrendAIを核とする大企業向けビジネスの売上高は円安の影響もあり、168,380百万円(前年同期比12.4%増)と増収となりました。

地域別では、日本地域は27,801百万円（前年同期比0.6%減）と減収、アメリカズ地域は36,276百万円（前年同期比8.3%増）と増収、欧州地域は46,913百万円（前年同期比16.0%増）と増収、アジア・パシフィック地域は57,388百万円（前年同期比20.0%増）と増収となりました。

TrendLifeを核とする個人向け・中小企業向けビジネスにつきましては、日本以外の地域で発生していた新しいＥＣ

ビジネスパートナーへの移行に伴う影響がほぼ解消されたことに加え、割引額の縮小や、高単価製品への誘導による単価向上施策の他、中小企業向けビジネス製品も伸長した結果、売上高は55,319百万円(前年同期比4.8%増)と増収となりました。

地域別では同ビジネスの過半以上を占める日本地域は38,013百万円(前年同期比1.1%増)と増収、アメリカズ地域は7,438百万円(前年同期比5.5%増)と増収、欧州地域は4,000百万円(前年同期比0.3%増)と増収、アジア・パシフィック地域は5,867百万円(前年同期比41.5%増)と増収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第３四半期連結累計期間における売上高は223,913百万円(前年同期比10.4%増)と前年比二けた増収となりました。

一方費用につきましては、円安影響により大きく増加した人件費の他、当社の競争環境や当社製品・サービス機能の拡充を企図した投資に伴って増加したＡＩトークンコストを含むクラウド関連費用や、今期より展開を開始したビジネスブランド推進に向けた費用も増加しました。その結果、売上原価並びに販売費及び一般管理費の合計費用は188,889百万円（前年同期比19.3%増）と増加し、当第３四半期連結累計期間の営業利益は35,023百万円（前年同期比21.2%減）と減益となりました。

当第３四半期連結累計期間の経常利益は前年の大きな為替差損がなくなったものの、37,522百万円（前年同期比5.0%減）と減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も23,839百万円（前年同期比11.5%減）と減益となりました。

当社が現在、重要な経営指標として意識しているARR（Annual Recurring Revenue)は為替影響除去ベースで前年同期に比べ、６％の増加となりました。非・Vision One関連のARRは減少しているものの、Vision One関連のARRは順調に増加しており全体ARR成長を牽引しております。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は204,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,791百万円減少いたしました。

主に受取手形、売掛金及び契約資産が大幅に減少したこと等により、第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24,251百万円減少の397,986百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、主に繰延収益の大幅な減少等により前連結会計年度末に比べ20,463百万円減少の270,648百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は主に自己株式の取得による自己株式の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,788百万円減少の127,338百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年８月13日に公表した通期業績予想の変更はございません。

2026年12月期通期業績見通し(2026年１月１日～2026年12月31日)

連結売上高	301,500百万円
連結営業利益	44,400百万円
連結経常利益	46,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	30,700百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

１米ドル	156円
１ユーロ	183円

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

３．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	220,092	204,301
受取手形、売掛金及び契約資産	76,279	47,368
有価証券	10,938	15,492
棚卸資産	10,048	10,494
その他	15,485	19,326
貸倒引当金	△153	△132
流動資産合計	332,690	296,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,526	2,120
工具、器具及び備品（純額）	2,270	2,361
その他（純額）	0	13
有形固定資産合計	4,797	4,495
無形固定資産		
ソフトウエア	17,380	16,815
のれん	1,552	1,031
その他	9,098	7,632
無形固定資産合計	28,031	25,480
投資その他の資産		
投資有価証券	4,727	16,401
関係会社株式	27	18
繰延税金資産	47,670	47,744
その他	4,293	6,995
投資その他の資産合計	56,718	71,160
固定資産合計	89,547	101,136
資産合計	422,238	397,986

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,973	1,841
未払金	9,077	11,585
未払費用	11,485	10,514
未払法人税等	5,310	4,549
賞与引当金	3,292	3,230
繰延収益	236,085	218,816
その他	10,255	6,315
流動負債合計	278,479	256,855
固定負債		
退職給付に係る負債	6,482	5,999
その他	6,150	7,794
固定負債合計	12,632	13,793
負債合計	291,111	270,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,926	19,926
資本剰余金	28,802	29,241
利益剰余金	100,906	100,570
自己株式	△71,864	△75,529
株主資本合計	77,770	74,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	390
為替換算調整勘定	48,908	48,114
退職給付に係る調整累計額	306	62
その他の包括利益累計額合計	49,749	48,567
新株予約権	3,108	3,370
非支配株主持分	498	1,191
純資産合計	131,126	127,338
負債純資産合計	422,238	397,986

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	202,753	223,913
売上原価	47,385	51,453
売上総利益	155,368	172,460
販売費及び一般管理費	110,894	137,436
営業利益	44,474	35,023
営業外収益		
業務受託手数料	7	－
受取利息	2,527	2,476
有価証券売却益	11	－
その他	73	107
営業外収益合計	2,618	2,583
営業外費用		
為替差損	6,704	4
持分法による投資損失	810	10
固定資産除却損	9	40
その他	51	30
営業外費用合計	7,576	85
経常利益	39,516	37,522
特別利益		
新株予約権戻入益	－	126
特別利益合計	－	126
特別損失		
投資有価証券評価損	160	－
特別損失合計	160	－
税金等調整前四半期純利益	39,355	37,648
法人税等	12,673	14,293
四半期純利益	26,682	23,355
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△260	△484
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,942	23,839

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	26,682	23,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	△143
為替換算調整勘定	△329	△795
退職給付に係る調整額	△236	△244
持分法適用会社に対する持分相当額	△392	1
その他の包括利益合計	△749	△1,182
四半期包括利益	25,932	22,173
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,195	22,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△263	△485

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	39,355	37,648
減価償却費	19,658	19,651
株式報酬費用	879	620
新株予約権戻入益	－	△126
のれん償却額	495	529
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△99	△22
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△468	△455
受取利息	△2,527	△2,476
持分法による投資損益（△は益）	810	10
固定資産除却損	9	40
有価証券売却損益（△は益）	△11	－
投資有価証券評価損益（△は益）	160	－
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	23,958	29,447
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,124	△429
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,211	△1,133
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△590	1,759
繰延収益の増減額（△は減少）	△9,662	△16,340
自社株連動型報酬（△は減少）	△578	△563
その他	△2,503	△13,638
小計	65,549	54,521
利息及び配当金の受取額	2,602	2,441
法人税等の支払額	△16,143	△15,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,007	41,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△14,482	△13,054
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△54	△11,882
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	20,367	－
有形固定資産の取得による支出	△903	△1,142
無形固定資産の取得による支出	△16,715	△16,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,789	△42,278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△5,000
自己株式の処分による収入	3,219	1,147
配当金の支払額	△23,487	△23,565
非支配株主への払戻による支出	△176	△1
非支配株主からの払込みによる収入	2,278	1,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,165	△25,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△852	2,116
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	21,199	△24,301
現金及び現金同等物の期首残高	187,392	230,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	208,592	206,157

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結子会社について）

当社は、米国のリミテッドパートナーシップ形態の組織としてベンチャーキャピタル事業を営んでいるTrend Forward Capital I,L.P.（以後、TFI）に出資をしています。TFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているのは2020年３月まで当社取締役であったワイエル・モハメド氏であり、一方当社は有限責任で経営参加資格のないリミテッドパートナーに過ぎず、TFIの経営への参加の権限及びその意思を持っておりません。しかしながら当社はTFIの出資総額の半分を超える額を拠出しており、またTFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているワイエル・モハメド氏が「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 20 号）における緊密な者とはならないことが証明できないため、同実務対応報告及び「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号）に従い、当社の連結範囲に含めております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位 ： 百万円）

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・パシフィック	計	調整額（注）３	四半期連結損益計算書計上額（注）４
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	65,711	40,556	44,440	52,044	202,753	－	202,753
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	58	9,394	6,534	25,493	41,480	△41,480	－
計	65,770	49,951	50,975	77,537	244,234	△41,480	202,753
セグメント利益	16,265	7,437	9,970	10,252	43,925	548	44,474

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ　…　米国・ブラジル

欧州　…　アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック　…　台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

３　セグメント利益の調整額548百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位 ： 百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・パシフィック	計	調整額(注)３	四半期連結損益計算書計上額(注)４
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	66,016	43,715	50,913	63,267	223,913	―	223,913
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	△34	10,563	8,399	29,697	48,625	△48,625	―
計	65,982	54,279	59,312	92,964	272,539	△48,625	223,913
セグメント利益	12,049	3,629	8,535	11,303	35,518	△494	35,023

(注) １　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ　…　米国・ブラジル

欧州　…　アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック　…　台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

３　セグメント利益の調整額△494百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。